

EQ カーブ対応トーンコントロールの調整(6)(HP 収載)

—Leak Point1 からの位相反転—

1. 始めに

前報(5)に引き続き、Garrd401 の再生のトーンコントロールの調整に加えて位相反転を検討します。

2. トーンコントロールの調整方法

前報(5)の配線は、以下のように Garrd401 の再生の Leak Point 1 を、フォノステージを有するプリアンプとして機能させ、トーンコントロール機能を活用しました。

Garrad401→STAGE1030→Leak Point 1(フォノ入力)→TruPhase

しかしながら、位相反転をしていませんので、定位の曖昧さが残りました。そこで今回は、Brooklyn DAC+を介在させ、その位相反転機能を活用してみます。

Garrad401→STAGE1030→Leak Point 1(フォノ入力)

→Brooklyn DAC+(ライン入力)→TruPhase

使用するアナログ盤は、前報(5)と同じものです。レンジが広く倍音も豊かなピアノ曲と倍音が豊かなヴァイオリンとコントラバスのピチカートが入った曲を選びました。

Garrd401 には Magic Mat II を敷いておきます。

LONDON 360R 56009

モーツアルト ディベルティメント 17 番

ウイリー・ボスコフスキー指揮ウィーンモーツアルト合奏団

ドイツグラモフォン MG2366

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番

ウイヘルム・ケンプ (ピアノ)

TRIO (ACharlin) PA1117

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番

エリック・ハイドシエック(ピアノ)

RCA M2S728

ショパン バラード G minor

ウラジミール・ホロヴィッツ (ピアノ)

3. トーンコントロールの調整結果

それぞれ、前報(1)の Table B および前報(2)と前報(3)のトーンコントロールの結果を受けての条件とします。これに加えて、Brooklyn DAC+を介在させ、その位相反転機能を活用します。

ボスコフスキー盤は、DECCA、R、第4時定数 High ですので、RIAAの再生からトーンコントロールを調整し、かつ Brooklyn DAC+で位相反転します。トーンコントロール調整を Bass は3時、Treble を3時とし、併せて Brooklyn DAC+で位相反転しますと、音の焦点があって定位もしっかりしてきます。

ケンプ盤は、TELDEC、R、第4時定数 Mid ですので RIAA の再生からトーンコントロールを調整し、かつ Brooklyn DAC+で位相反転します。トーンコントロール調整の Treble を3時とし、併せて Brooklyn DAC+で位相反転しますと、音の焦点があって定位もしっかりしてきます。

ハイドシエック盤は、EMI、R、第4時定数 Low ですので、RIAAの再生からトーンコントロールを調整し、かつ Brooklyn DAC+で位相反転します。トーンコントロール調整を Bass は2時、Treble を3時とし、併せて Brooklyn DAC+で位相反転しますと、音の精度が向上し、一音一音がくっきりとし、定位もしっかりしてきます。

ホロヴィッツ盤は、Columbia、R、第4時定数 Low ですので、RIAAの再生からトーンコントロールを調整し、かつ Brooklyn DAC+で位相反転します。トーンコントロール調整を Bass は3時、Treble を3時とし、併せて Brooklyn DAC+で位相反転しますと、音の焦点があって定位もしっかりして、ホロヴィッツらしい迫力がでてきます。

以上から、トーンコントロールの調整に加えて位相反転することにより、トーンコントロールの効果をさらに有効にすることが分りました。

これまでの検討は、ZANDEN Model 120 によるオリジナルのイコライザーカーブで聴いて、RIAAでもそれに合うようトーンコントロールを操作することでしたが、ここで、そのような結果がよかったのかどうか、試みにフォノイコライザーを ZANDEN Model 120 にもどして Columbia、R、第4時定数 Low で聴いてみました。クオリティのレベルはかなり違いますが、バランス的には先のトーンコントロールと位相反転の音によく似ており、第4時定数 Low から High にしますとさらに似てきます。

4. まとめ

フォノステージが ZANDEN Model 120 であった前報(2)と(3)のトーンコントロールの調整結果を、フォノステージを Leak Point 1 にも応用し、併せて Brooklyn DAC+で位相反転することで、さらなるリアリティの向上を認めました。

以上